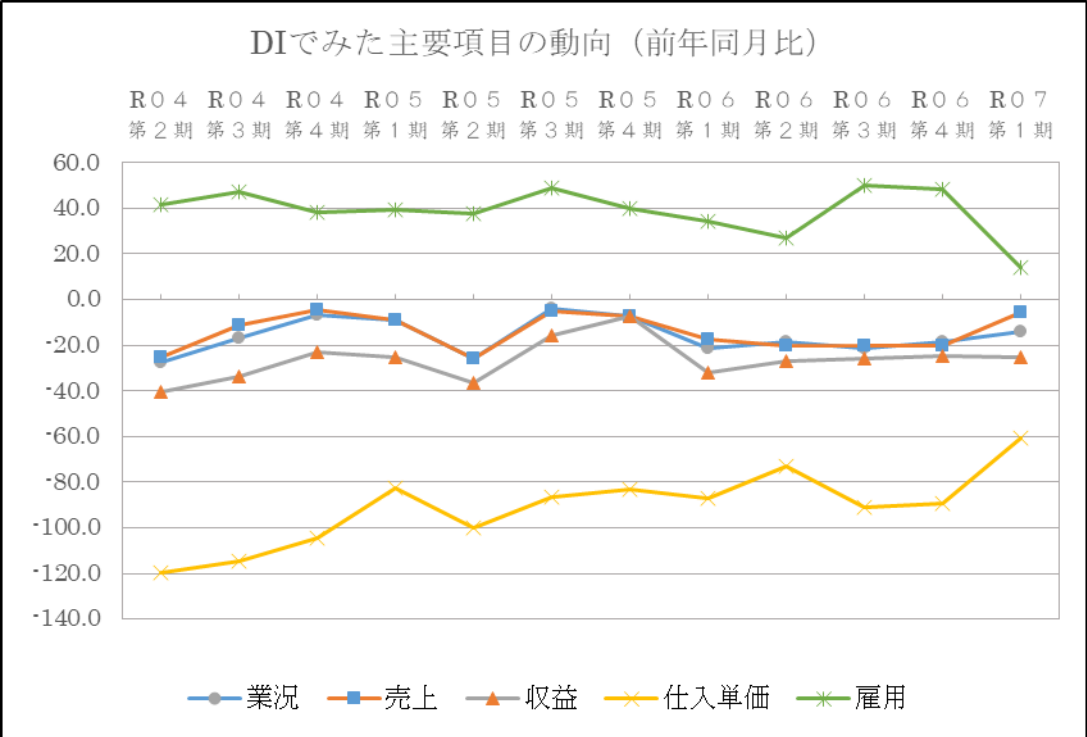


景気動向調査 令和7年度・第1期（令和7年4月～令和7年6月）

調査概要

調査対象:赤穂商工会議所管内 80社
回収:71社 回収率:88.7%
調査対象期間:令和7年4月～令和7年6月(令和7年度・第1期)
DI値:「良い＋やや良い」と判断する事業所の割合から、「やや悪い＋悪い」と判断する事業所の割合を差引き、指数で表します。従って、売上高などの実数値を示すものではなく、強気・弱気などの景況感を意味します。
補足:今期より中小機構の「中小企業景況調査」に参加した関係で調査対象・調査項目が大幅に変更となりました。令和6年第4期以前の記録は参考値として掲載しています。

調査結果のポイント



* 令和6年第4期以前は参考値

全産業合計DI

区分	R6第4期 (R7年1月～3月) * 前年同月比 * 参考値	R7第1期 (R7年4月～6月) * 前年同月比	R7 第1期 今期のみの業績
業況	△18.8	△14.1	△18.3
売上	△20.0	△5.6	
収益	△24.7	△25.4	+11.3
仕入単価	△89.4	△60.6	
雇用	48.2	14.1	

※雇用 DI については、数値が大きいほど人手不足感を表す

○今期の景況(前年同月比)をみると、全産業合計の業況DIは前回調査(R6 年 4 期)に比べ 4.7 ポイント上昇の△14.1 となった。売上 DI は 14.4 ポイント上昇の△5.6、収益 DI は 0.7 ポイント下降の△25.4 となり、また仕入単価は 28.8 ポイント上昇で△60.6、雇用 DI は 34.1 ポイント下降の 14.1 となった。

○また、今期のみの業績(比較なし)については、全産業合計の業況 DI は△18.3、収益は+11.3 となった。

産業別売上 D I

区分	前年同月比				
	R6 第 1 期	R6 第 2 期	R6 第 3 期	R6 第 4 期	R7 第 1 期
全体	△17.2	△20.0	△20.0	△20.0	△5.6
建設業	△14.3	△21.4	△50.0	△25.0	△9.1
製造業	△8.0	△37.5	0.0	△18.2	5.9
卸売業	△9.1	0.0	0.0	0.0	11.1
小売業	△29.6	△20.8	△40.7	△34.6	△29.4
サービス業	10.0	42.9	20.0	33.3	0.0

*R6 第 4 期以前は参考値

○産業別の売上DIは前回調査(令和 6 年 4 期)と比較すると、建設業が△9.1(+15.9 ポイント)で、製造業が 5.9(+24.1 ポイント)、卸売業が 11.1(+11.1 ポイント)、小売業が△29.4(+5.2 ポイント)で改善、サービス業が 0.0(△33.3 ポイント)で悪化となった。

経営上の問題点 (上位 3 項目)

区分	R6 第 1 期	R6 第 2 期	R6 第 3 期	R6 第 4 期	R7 第 1 期	前回調査比
従業員の確保	22.6	18.8	23.3	22.4	24.4	+2.0
原材料高	16.1	20.0	18.9	17.6	16.5	△1.1
人件費の増加					12.9	(初)

*R6 第 4 期以前は参考値

○事業所からのコメント

建設業：人手不足を外国人労働者で補っている。

製造業：従業員の高齢化に備える必要がある。

卸売業：需要は強いが、対応する在庫が不足している。

<参考>

有効求人倍率

区分	R7.4月	R7.3月	R7.2月
一般(常用)	0.78	0.82	0.85
パート(常用)	0.73	0.81	0.92
一般+パート(全合計)	0.75	0.82	0.88

